

キリスト教文学特講ⅠⅠ					単位	4			
授業コード	15840	科目ナンバリング	410Z0-2340-o4	期間	2021年度 第1期～第2期				
担当者	山根 道公								
授業形態	講義								
授業形式	対面		リアルタイム遠隔		オンデマンド遠隔				
対面授業はFまたはS、遠隔授業は該当するものに○（複数可）									
●本授業の概要									
日本文学者のなかで生涯にわたり、キリスト教と深く関わり、それをテーマにした作品を書き続けた作家の代表として、Ⅰ期には芥川龍之介、Ⅱ期には遠藤周作を取り上げる。それらの作家の生涯をたどりながら、そこから生まれたキリスト教的テーマをもつ作品を年代順に読み解くことで、神と悪魔、エゴイズムと愛、アガペーとエロス、父性的神と母性的神、罪と罰、愛と許し、同伴者イエス、人間存在の根源的渴望、人間と人間を超えたものとの関係と相克などのキリスト教的テーマを探究する。									
●到達目標					知識・技能	思考・判断・表現力	主体性		
1	1. 各回の授業で取り上げる作品について自分の読解や意見を述べるができる。					○	○		
2	2. 芥川龍之介の文学とキリスト教に関係したテーマで、作品を読解、分析してレポートにまとめることができる。				○	○			
3	3. 遠藤周作の文学とキリスト教に関係したテーマで、作品を読解、分析してレポートにまとめることができる				○	○			
4									
5									
●成績評価の基準					1	2	3	4	5
1	・授業中の発言・リアクションペーパー…30%（到達目標1）				1				
2	・Ⅰ期末レポート…35%（到達目標2）					2			
3	・Ⅱ期末レポート…35%（到達目標3）						3		
4									
5									
●実務経験のある教員による科目									
●実務経験の授業への活用方法									
●日本語以外の授業への活用方法									
●授業予定一覧									
Ⅰ期									
1 日本の近代文学者とキリスト教について概説									
2 芥川龍之介とキリスト教とドストエフスキー体験									
3 「老狂人」									
4 「羅生門」									
5 「鼻」「蜘蛛の糸」「杜子春」「白」									
6 「煙草と悪魔」「るしへる」									
7 「奉教人の死」									
8 「きりしとほろ上人伝」									
9 「南京の基督」									
10 「神々の微笑」									
11 「おぎん」「おしの」									
12 「歯車」									
13 「西方の人」									
14 「続西方の人」									

15 芥川龍之介の魂の渴望と死と聖書・（I期の期末レポート作成について）

II期

1 遠藤周作とキリスト教

2 遠藤周作と母・岡山

3 遠藤周作と留学・フランス

4 「アデンまで」「白い人」「黄色い人」

5 「海と毒薬」

6 「おバカさん」「聖書のなかの女性たち」

7 「わたしが・棄てた・女」

8 「満潮の時刻」

9 「沈黙」

10 「死海のほとり」

11 「侍」

12 「女の一生」

13 「スキャンダル」

14 「深い河」

15 遠藤周作の魂の故郷への帰還・（II期の期末レポート作成について）

#### ●試験

I 期末レポート・II 期末レポート

#### ●試験のフィードバックの方法

#### ●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容

○授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として読んで自分の意見をもって授業に臨むこと。（2時間程度）

○期末レポートの資料にできるように、毎回の授業の内容を復習し、まとめておくこと。（1時間程度）

#### ●必携書（教科書販売）

使用しない。

#### ●必携書・参考書等（教科書販売以外）

読んでくるべき作品については授業中に指示する。

授業で資料を配布する。

#### ●オフィスアワー

質問は随時、電子メールで受け付ける。また、リアルタイム遠隔授業終了後に遠隔でも受け付ける。

#### ●連絡先

yamane@m.ndsu.ac.jp

#### ●留意事項

○授業が一方通行にならないようにリアクションペーパーに毎回、意見・質問等のメモを書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。

キリスト教文学特講IIA					単位	2			
授業コード	15841	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	期間	2021年度 第1期				
担当者	山根 道公								
授業形態	講義								
授業形式	対面	リアルタイム遠隔	オンデマンド遠隔						
対面授業はFまたはS、遠隔授業は該当するものに○（複数可）		○							
●本授業の概要									
日本文学者のなかでキリスト教と深く関わった作家として芥川龍之介を取り上げ、作家の生涯を追いながら、作品を読み解くことで、神と悪魔、エゴイズムと愛、アガペーとエロス、父性的神と母性的神、罪と罰、愛と許し、人間存在の根源的渴望、同伴者イエスなどのキリスト教的テーマを探究することを目的とする。キリスト教を軸に作品分析を行い、分析の方法と論文へのまとめ方の技術を習得する。									
●到達目標					知識・技能	思考・判断・表現力	主体性		
1	1. 各回の授業で取り上げる作品について自分の読解や意見を述べるができる。					○	○		
2	2. 芥川龍之介の文学とキリスト教に関係したテーマで、その作品を読解、分析してレポートにまとめることができる。				○	○			
3									
4									
5									
●成績評価の基準					1	2	3	4	5
1	授業中の発言とリアクションペーパー（30%）				1				
2	1 期末レポート（70%）				1	2			
3									
4									
5									
●実務経験のある教員による科目									
●実務経験の授業への活用方法									
●日本語以外の授業への活用方法									
●授業予定一覧									
1 期									
1 日本の近代文学者とキリスト教について概説									
2 芥川龍之介とキリスト教とドストエフスキー体験									
3 「老狂人」									
4 「羅生門」									
5 「鼻」「蜘蛛の糸」「杜子春」「白」									
6 「煙草と悪魔」「るしへる」									
7 「奉教人の死」									
8 「きりしとほろ上人伝」									
9 「南京の基督」									
10 「神々の微笑」									
11 「おぎん」「おしの」									
12 「歯車」									
13 「西方の人」									
14 「続西方の人」									
15 芥川龍之介の魂の渴望と死と聖書・（1期の期末レポート作成について）									

●試験
I期の期末レポート。
●試験のフィードバックの方法
リアクションペーパーに対する解説を授業内に口頭で行う。 15週目の授業で期末レポート作成の方法を説明し、各自の質問に応じる。
●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容
授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として読んで自分の意見をもって授業に臨むこと（約2時間）。 期末レポートの資料にできるように、毎回の授業の内容を復習し、まとめておくこと（約1時間）。
●必携書（教科書販売）
教科書指定はない。
●必携書・参考書等（教科書販売以外）
〈参考書等〉 適宜、授業内で紹介する。
●オフィスアワー
質問は随時、電子メールで受け付ける。リアルタイム遠隔授業終了後に遠隔で受け付ける。
●連絡先
●留意事項
取り上げる作品は事前に読んで授業に臨むこと。 リアクションペーパーに意見・質問などをまとめて提出してもらうので主体的に授業に臨むこと。

キリスト教文学特講IIB					単位	2			
授業コード	15842	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	期間	2021年度 第2期				
担当者	山根 道公								
授業形態	講義								
授業形式	対面	リアルタイム遠隔	オンデマンド遠隔						
対面授業はFまたはS、遠隔授業は該当するものに○（複数可）		○							
●本授業の概要									
日本文学者のなかでキリスト教と深く関わった文学者として遠藤周作を取り上げる。それらの作家の生涯を追いながら、作品を読み解くことで、人間と人間を超えたものとの関係と相克、エゴイズムと愛、アガペーとエロス、父性的神と母性的神、罪と罰、愛と許し、人間存在の根源的渴望、同伴者イエスなどのキリスト教的テーマを探究する。									
●到達目標					知識・技能	思考・判断・表現力	主体性		
1	1. 各回の授業で取り上げる作品について自分の読解や意見を述べるができる。								
2	2. 遠藤周作の文学とキリスト教に関係したテーマで、その作品を読解、分析してレポートにまとめることができる								
3									
4									
5									
●成績評価の基準					1	2	3	4	5
1	・授業中の発言・リアクションペーパー…30%				1				
2	・Ⅱ期末レポート…70%					2			
3									
4									
5									
●実務経験のある教員による科目									
●実務経験の授業への活用方法									
●日本語以外の授業への活用方法									
●授業予定一覧									
Ⅱ期									
1遠藤周作とキリスト教									
2遠藤周作と母・岡山									
3遠藤周作と留学・フランス									
4「アデンまで」「白い人」「黄色い人」									
5「海と毒薬」									
6「おバカさん」「聖書のなかの女性たち」									
7「わたしが・棄てた・女」									
8「満潮の時刻」									
9「沈黙」									
10「死海のほとり」									
11「侍」									
12「女の一生」									
13「スキャンダル」									
14「深い河」									
15遠藤周作の魂の故郷への帰還・（Ⅱ期の期末レポート作成について）									

●試験
期末レポート
●試験のフィードバックの方法
●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容
○授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として読んで自分の意見をもって授業に臨むこと。（2時間程度）
○期末レポートの資料にできるように、毎回の授業の内容を復習し、まとめておくこと。（1時間程度）
●必携書（教科書販売）
使用しない。
●必携書・参考書等（教科書販売以外）
読んでくるべき作品については授業中に指示する。 授業で資料を配布する。
●オフィスアワー
質問は随時、電子メールで受け付ける。また、リアルタイム遠隔授業終了後に遠隔で受け付ける。
●連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
●留意事項
○授業が一方通行にならないようにリアクションペーパーに毎回、意見・質問等のメモを書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。

キリスト教文学演習ⅠⅠ					単位	4			
授業コード	15930	科目ナンバリング	410Z0-3400-o4	期間	2021年度 第1期～第2期				
担当者	山根 道公								
授業形態	演習								
授業形式	対面		リアルタイム遠隔		オンデマンド遠隔				
対面授業はF または S, 遠隔授業は該当するものに ○ (複数可)									
●本授業の概要									
近代・現代の日本文学において、芥川龍之介、太宰治、遠藤周作、三浦綾子、宮沢賢治などをはじめとしてキリスト教と関わりのある文学作品を書いた作家は実に多い。また、外国のキリスト教と関わる文学作品からも多大な影響を日本の文学者は受けている。そうした文学作品を取り上げ、そこにこめられたキリスト教的主題(神・信仰・愛・罪・赦し…)や聖書的表現などを分析、読解する方法、およびそれらの作品の先行研究を踏まえての研究発表の方法を学び、各自発表し、併せて論文作成の手順と技術について学ぶ。									
●到達目標					知識・技能	思考・判断・表現力	主体性		
1	1. 演習中に取り上げる作品およびその発表について自分の読解や意見を述べることができる。					○	○		
2	2. キリスト教や聖書との関わりのある作品を取り上げ、キリスト教的主題や聖書の表現等に注目して分析、読解して発表することができる。				○	○	○		
3	3. 自分の演習の発表を基にし、論文作成の手順と技術に即して、論文を完成させることができる。				○	○			
4									
5									
●成績評価の基準					1	2	3	4	5
1	・演習中の発表(Ⅰ期とⅡ期、各1回)…30%					2			
2	・演習中の主体的参加態度、リアクションペーパー…30%				1				
3	期末レポート(Ⅰ期とⅡ期)……40%						3		
4									
5									
●実務経験のある教員による科目									
●実務経験の授業への活用方法									
●日本語以外の授業への活用方法									
●授業予定一覧									
1 1期のイントロダクション									
2 キリスト教と関わる作家と文学作品について①									
3 キリスト教と関わる作品の研究発表の方法について									
4発表① 5発表② 6発表③ 7発表④ 8発表⑤ 9発表⑥									
10発表⑦ 11発表⑧ 12発表⑨ 13発表⑩									
14研究発表を踏まえた論文作成の方法について①									
15 1 提出レポートについての講評									
16 2期のイントロダクション									
17キリスト教と関わる作家と文学作品について②									
18キリスト教と関わる作品の先行研究を踏まえた、研究発表の方法について									
19発表① 20発表② 21発表③ 22発表④ 23発表⑤ 24発表⑥									
25発表⑦ 26発表⑧ 27発表⑨ 28発表⑩									

29 研究発表を踏まえた論文作成の方法について②

30 2期提出レポートについての講評

●試験

期末試験（レポート）

●試験のフィードバックの方法

最後の授業で期末レポートの講評を行う。

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容

・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように予習しておくこと。（2時間程度）

・自分の発表を終えた後は、授業のなかで受けた指摘等をまとめておき、期末レポートに活かせるように復習しておくこと。（1時間程度）

●必携書（教科書販売）

使用しない。

●必携書・参考書等（教科書販売以外）

<必携書>

読んでくるべき作品については授業中に指示する。

●オフィスアワー

・質問は随時、電子メールで受け付ける。また、リアルタイム遠隔授業終了後にも受け付ける。

●連絡先

yamane@m.ndsu.ac.jp

●留意事項

・演習では他の発表者の作品に対して積極的に発言できるようにすること。



キリスト教文学演習IIA					単位	2			
授業コード	15931	科目ナンバリング	410Z0-3400-o2	期間	2021年度 第1期				
担当者	山根 道公								
授業形態	演習								
授業形式	対面		リアルタイム遠隔		オンデマンド遠隔				
対面授業はFまたはS、遠隔授業は該当するものに○（複数可）									
●本授業の概要									
近代・現代の日本文学において、芥川龍之介、太宰治、遠藤周作、三浦綾子、宮沢賢治などをはじめとしてキリスト教と関わりのある文学作品を書いた作家は実に多い。また、外国のキリスト教と関わる文学作品からも多大な影響を日本の文学者は受けている。そうした文学作品を取り上げ、そこにこめられたキリスト教的主題（神・信仰・愛・罪・赦し…）や聖書的表現などを分析、読解する方法を学び、各自発表し、併せて論文作成の手順と技術について学ぶ。									
●到達目標					知識・技能	思考・判断・表現力	主体性		
1	1. 演習中に取り上げる作品およびその発表について自分の読解や意見を述べることができる。					○	○		
2	2. キリスト教や聖書との関わりのある作品を取り上げ、キリスト教的主題や聖書的表現等に注目して分析、読解して発表することができる。				○	○	○		
3	3. 自分の演習の発表を基にし、論文作成の手順と技術に即して、論文を完成させることができる。				○	○			
4									
5									
●成績評価の基準					1	2	3	4	5
1	・演習中の発表…30%（到達目標2）					2			
2	・演習中の主体的参加態度、リアクションペーパー…30%（到達目標1）				1				
3	期末レポート……40%（到達目標3）						3		
4									
5									
●実務経験のある教員による科目									
●実務経験の授業への活用方法									
●日本語以外の授業への活用方法									
●授業予定一覧									
1 インTRODクシヨン									
2 キリスト教と関わる作家と文学作品について									
3 キリスト教と関わる作品の研究発表の方法について									
4発表① 5発表② 6発表③ 7発表④ 8発表⑤ 9発表⑥									
10発表⑦ 11発表⑧ 12発表⑨ 13発表⑩									
14研究発表を踏まえた論文作成の方法について									
15提出レポートについての講評									

●試験
期末レポート（課題は授業中に指示）
●試験のフィードバックの方法
最後の授業で期末レポートの講評を行う
●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容
・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように予習しておくこと。（2時間程度） ・自分の発表を終えた後は、授業のなかで受けた指摘等をまとめておき、期末レポートに活かせるように復習をしておくこと。（1時間程度）
●必携書（教科書販売）
使用しない。
●必携書・参考書等（教科書販売以外）
読んでくるべき作品については授業中に指示する。I
●オフィスアワー
・質問は随時、電子メールで受け付ける。また、リアルタイム遠隔授業終了後に遠隔で受け付ける。
●連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
●留意事項
・演習では他の発表者の作品に対して積極的に発言できるようにすること。

キリスト教文学演習IIB					単位	2			
授業コード	15932	科目ナンバリング	410Z0-3400-o2	期間	2021年度 第2期				
担当者	山根 道公								
授業形態	演習								
授業形式	対面		リアルタイム遠隔		オンデマンド遠隔				
対面授業はFまたはS、遠隔授業は該当するものに○（複数可）									
●本授業の概要									
近代・現代の日本文学において、芥川龍之介、太宰治、遠藤周作、三浦綾子、宮沢賢治などをはじめとしてキリスト教と関わりのある文学作品を書いた作家は実に多い。また、外国のキリスト教と関わる文学作品からも多大な影響を日本の文学者は受けている。そうした文学作品を取り上げ、そこにこめられたキリスト教的主題（神・信仰・愛・罪・赦し…）や聖書の表現などを分析、読解する方法、およびそれらの作品の先行研究を踏まえての発表の方法を学び、各自発表し、併せて論文作成の手順と技術について学ぶ。									
●到達目標					知識・技能	思考・判断・表現力	主体性		
1	1. 演習中に取り上げる作品およびその発表について自分の読解や意見を述べることができる。					○	○		
2	2. キリスト教や聖書との関わりのある作品を取り上げ、キリスト教的主題や聖書の表現等に注目して分析、読解して発表することができる。				○	○	○		
3	3. 自分の演習の発表を基にし、論文作成の手順と技術に即して、論文を完成させることができる。				○	○			
4									
5									
●成績評価の基準					1	2	3	4	5
1	・演習中の発表…30%					2			
2	・演習中の主体的参加態度、リアクションペーパー…30%				1				
3	期末レポート………40%						3		
4									
5									
●実務経験のある教員による科目									
●実務経験の授業への活用方法									
●日本語以外の授業への活用方法									
●授業予定一覧									
1 イントロダクション									
2 キリスト教と関わる作家と文学作品について									
3 キリスト教と関わる作品の先行研究を踏まえた、研究発表の方法について									
4発表① 5発表② 6発表③ 7発表④ 8発表⑤ 9発表⑥									
10発表⑦ 11発表⑧ 12発表⑨ 13発表⑩									
14研究発表を踏まえた論文作成の方法について									
15提出レポートについての講評									

●試験
期末レポート（課題は授業で指示）
●試験のフィードバックの方法
最後の授業で期末レポートの講評を行う。
●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容
・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように予習しておくこと。（2時間程度） ・自分の発表を終えた後は、授業のなかで受けた指摘等をまとめておき、期末レポートに活かせるように復習しておくこと。（1時間程度）
●必携書（教科書販売）
使用しない。
●必携書・参考書等（教科書販売以外）
読んでくるべき作品については授業中に指示する。
●オフィスアワー
・質問は随時、電子メールで受け付ける。また、リアルタイム遠隔授業終了後に遠隔で受け付ける。
●連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
●留意事項
・演習では他の発表者の作品に対して積極的に発言できるようにすること。